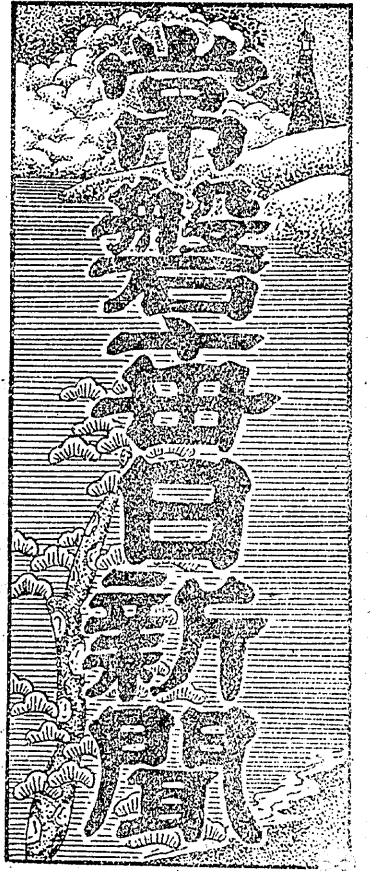


【刊夕】日十二月一



定部金一 價定 料告廣 五 十 五 錢 郵 錢 十 五 月 一 錢 貳 金 部 一 價 定 錢 十 五 行 一 語 字 三 十 號 五 料 告 廣 治 文 崎 川 人 刷 印 入 輯 編 發 行 發 五 三 町 橋 長 町 平 郡 城 石 縣 鳥 福 番 〇 三 六 話 電 社 開 新 日 每 警 常 所 行 發 社 會 式 株 刷 印 日 每 警 常 所 刷 印

### 在來口語歌の出發點と其音律的墮落

白木英尾

在來口語歌とは五七調三十一文字の短歌形式に單なる置換法を用ひて口語化された短歌を指すのであるがそれは、既にその出發點に於て大なる欠陥を伴つてゐた。古來の傳統文語歌の音律的效果は、幾多音數律の反覆からくる倦怠感の爲に衰亡した我國歌謡の中に最も生命を保つ否保つたものである。五七音を反覆して最後に七音を据ゑる形式が我々の腦裡に最も快美な音律的感覚を醸生せしめて而もそこには何らの倦怠感がなかつた。之がために文語のリズムから口語のリズムへの移行に際しても無反省に而もたらしく此の形式に甘んじたのである。而してそれが日本語に於ける兩者の對立的性質を無視して滑稽なる新らしがりに終らしめた原因である。その結果口語歌最初の目的に反した一種の畸形を生みつけてしまつた。口語の音律を一様に文語歌の形式へ

充填してどこに口語歌たる音律的效果を期待し得るかこの出發點での矛盾は應て口語歌を音律的に墮落せしめたのである。

在來口語歌には緊縮性がないとか藝術的價値がないとか短歌性がなくとかと聞く、事實それは口語の本體を見失つて時代のテムポに逆流する表現を使用した爲の當然なる批難である。五七調形式固守の強行を禁つて動詞形容詞助動詞等の語尾の音便による音韻學的變化を見逃してゐた爲め云はゞのびた蕎麥のやうな

誠にだらしない調子を辿つてゐたのである。次に短歌は俗語小唄乃至は童謡でないものである。三十一文字形式の安逸に逃避し平然として短歌の遊戯化或は俗悪化を強行して天晴「口語歌」と銘打つたものは、口語歌の圈内から排撃しなくてはならない。少くとも歌人的自覺乃至は責任を持つ人々の制作するものでないのである音律的墮落に關する具體的諸研究に就いては他日同標題のもとに詳説する。之はその序論的なものとみて戴きたい。

### 火耀短歌

官製はかき一葉三首 宛名は本社文藝部 締切は毎週土曜日

明石 濱 男  
食しくとも強く生きてゆかう、ガスの火をじつとみつめる  
片寄 歌 二  
他人の税金まで納めると言つてゐる役場吏員の寂しい聲  
渡邊 喜 美  
ガラス窓を力一杯打破いたらぼつとすゝのかも知れない沈黙  
志 來 眞 樹  
あなたへの思念が激しく反撥する、いつそあなたを泣かせてしまはふ  
白木 英 尾  
どつかに、私の登音がしてゐる街はしんと凍るばかり(深夜)

### 本場淺草ノリ肴

何商品でも實際之本場物は少き物に候今同弊店にて本場淺草海苔を販賣致す候間試に何程でも御購求被下度此段廣告仕候全く場邊は賣らず候

平町四丁目 伊勢屋商店

### 目下大流行のベビーカメラ

一金六拾錢也

附屬品付 平町一丁目 森下商店

### 命の御用時計

は今評判の山崎に  
深刻な不景氣の折柄買ふ人の身になつて良い品を特價にて提供致します

修繕物は特に丁寧迅速破額を以て御用に應じます

親切な店 堅い店  
山崎時計専門店  
(五丁目新川町通り 吉田屋染物店前)

### 電話

お壽司の御用は、  
五七五番へ

平三玉 壽司

---

### 吉田眼科病院

平紺屋町、電話六八番

### 磐城共濟病院案内

本病院は時局に鑑み八月一日より入院料並に往診料左の通低減致候間御参考迄申上候

入院料 一日(本會員) 金貳圓也  
金壹圓五拾錢也

往診料 院長及其他の一般 金參圓也  
博士に限り 本會員 金貳圓也

(平町内)

尙地方往診も之に應じ低減致候間此段申添候

各科専門 (醫擔當)

- 内科 小兒科
- 外科 皮膚泌尿科 整形外科 內臟外科
- 産婦人科 女子泌尿科
- 耳鼻咽喉科
- X光線科
- 物理學的診療科

院長 醫學博士 難波 睦  
本院主 管 賀澤 忠治

一、衛生試驗所  
一、救氣相談所  
一、治療所

共濟病院内

昭和五年九月

### 磐城共濟會

平町 電話六四二番

看護婦募集

# 公休日廢止

## 最大能率で出炭

### 各炭礦が大活況

業界の不振から極度の整理を決定した出炭の制限をはかるため公休日を含め毎月休出してゐた程であつたが昨冬の需要期から一時に需要が殺到採炭に追はれるといふ現況にあり送炭制限を實現して大炭礦は勿論のこと各群小炭礦も目下出来る限りの最大能率で生炭につとめてゐるこの結果従前生炭量の細和策に行つてゐた従業員公休は二月一日から断然これを一様に廢止することになつた

# 營業は好展

## 磐東銀行總會

石城郡植田町株式會社磐東銀行の後期株主總會は二十四日午後十時から同銀行内に開催するが當期利益金五千九百九十二圓三十八錢の處分は法定準備金三百圓退職給與基金二百圓積立て二千四百七十九圓八十八錢を後期繰越金となし株主配當は財界の現状から鑑み増配せず前期通り三分二千二百十二圓五十錢を配當する筈で尙同銀行は新銀行法による資本金制限には抵觸せず現資五十萬圓で存続されることになつてをりこの不況にも營業は好展してゐる

### 小野田軍人會

石城郡小野田炭礦在郷軍人分會

# 信用評定

## 委員が決定

昨報信用組合平庶民金庫の任期満了せる監事は花澤久一郎、鈴木重助、坂本隆藏の三氏兩選され信用評定委員は左記十五名に決定した長橋町植田鶴松、材木町金成泉一郎、鍛冶町國府

# 平町人事

## 出生

△新川町三三 阿部榮造氏長男一郎  
△久保町三七 酒井謙次郎氏二女清恵  
△婚 姻  
△新川町二一 官東村上善松(三九)秋  
△市鐵砲町依々木ハル(二九)  
△南町一 醫師眞木光郎氏(二九)石  
城郡夏井村精崎チエノ(二三)

# 柳田を捕縛する迄

## 色魔の詐欺師

- ▼本名 青木由五郎(前科三犯)
- ▼原籍 神奈川県浦賀町
- ▼平地方にての偽名 柳田辰五郎
- ▼房總地方にての偽名 森本友三

## 根本殺一

楢葉川姉ヶ崎線路の下は直く海で。海と云ふよりは宛然湖水而も夕風ぎに波一つ立たづ油を流したやう遠く沖に建仁寺の垣根をめぐらした如うに見えるのが海苔寄せのシダ。所々に玩具のやうな海苔採り舟の乗り捨て、あるのも面白い。遙か向ふは東京。下總であらうが既に夕霞の中に没して居る。たゞ天上高く一

走る氣持の快いものだ。兩國橋へ着いたのが六時三十分再び黄塵の都不夜城の都へ吐き出された。

「吉田さんは平の關内さんと先き程ドラヘカお出掛でお留守。鈴木さんは婚禮の宴會があるとかで急に夕方お立ちになりました」

「平町では三文の値打のない根本殺一さんの花の都の東京へ来て壹圓さへ奮發すりやこうなんもんでえ」

「一寸と僕を知つて人間に見せたかつた。然し待てとどうせたいして廻り路でもあるまい一つ横網町の紺谷湯と云ふのに寄せて貰つてその場所丈けでも見て置かうか定めし今日吉田君と鈴木さんがぬかりなくやつた事で今では後の祭りではあらうけれど」

「ナツナアングラ棒め。吾々を平掘り扱ひにしやがつたナそんな手緩い警察の云ふ事など聞いて居られるけえ。蕙引だのカッ拂ひなんぞ追つかけてはして居るもんだから斯んな大事件に喰はすと恐ろしくつて

「時にとどうしたい今日の結果は……」

「イヤハヤあされたむしろ癪にさわつたせ今朝早速鈴木さんと二人で兩國の警察へ行つたよ。所が劍もホロロの挨拶サ」

「フ、ム争はれないねさすがは東京の警察だ二人の雁首を揃へて行つたんじや信用をしない。ヤツバリ俺が……」

手が出ないんだらう。サアお上り下さい。とばかりにお膳立をしてやつてるのに難有いとも思ひやがらねえで……」



セメント  
壁用材料  
コールタール  
ペンキ塗料  
板ガラス

磐城セメント株式會社  
代理店 西村屋藥舗  
平町二丁目電三

# 木村病院

平新川町十九  
婦人科 院長 木村寅次郎  
産人科 女醫 木村 コウ  
内臓外科 醫學士 松永 憲一  
整形外科 醫學士 萩原 駿二  
藥局 東京藥學士 萩原 駿二

# 婦人給仕五名募集

容姿端麗にして  
相當教養ある方  
年齢二十才以上三十才迄素人も可  
御希望の方は履歷書持參  
午後一時より御來店を乞ふ  
平町田町

# イワキサロ

電話三五二番



